



【職場】千葉県

【職業】ファッションブランド代表兼デザイナー

現在 千葉県



赴任国 ベナン共和国



【赴任地】ブラトー県ケトゥ市

【職種】コミュニティ開発

【派遣期間】2017年4月～2019年3月

アフリカの色彩と原宿の「カワイイ」を融合

小林 結花さん Melanger Etranger

Yuka Kobayashi

ベナンの伝統と日本のサブカルチャーを混ぜ合わせた

ロリータファッションブランド『Melanger Etranger (メランジェ エトランジェ)』。

その意味はフランス語で“外国のものを混ぜる”に由来します。

アフリカ布が彩る ロリータファッション

東京・原宿で誕生し日本を代表するのサブカルチャーの一つ、ロリータファッション。フリルやレースを大胆にあしらった可愛らしい服は、今や世界共通言語といっていい「Kawaii (かわいい)」という言葉と共に国内外のファンを魅了している。このロリータファッションをアフリカ布で制作し販売しているのが『Melanger Etranger』だ。JICA海外協力隊(以下、JOCV)経験者の小林さんが主宰するオリジナルブランドである。

小林さんは「オールハンドメイド」「オンリーワン」にこだわり、デザインから縫製までほとんどの工程を日本の自宅ですべて一人で手掛けている。その服作りの核となるカラフルなアフリカ布や装飾

品は、自身の派遣国だったベナン共和国(以下、ベナン)を中心に、アフリカやヨーロッパ各地から直輸入したものだ。小林さんのアイデアはロリータファッションに留まらない。男性向けのシャツや結婚式の衣装など、生地魅力を最大限に引き出すための試行錯誤を重ねている。

販売スタイルも斬新だ。完成した新作は、モデルを起用したライブ配信を通じてSNSで発表され、インターネットを通じて顧客の元へ届けられる。2023年に



は、世界4大コレクションの一つであるMilano Fashion Week 2024 Spring/Summer(通称ミラノコレクション)に出展を果たした。「貧困や飢餓といったアフリカのネガティブなイメージをポジティブに変えたい」その思いが、世界に届いた瞬間だった。

“好き”が繋がった JOCV活動

小林さんは学生時代からロリータファッションが大好きだったそうだ。その中で小林さんの心を惹きつけたのが、ベナンで出会った色鮮やかなアフリカ布だった。生地から服を仕立てるのが一般的なベナンでは、いつも市場の布売り場はおしゃれな女性たちで大賑わい。こうした、布選びからこだわってオーダー



アフリカ布で仕立てたオリジナルのワンピースを着て活動する小林さん



現在はデザインから縫製まで一人でこなす



ミラノコレクションでアフリカ布とロリータファッションの融合を発表

メイドで服を作る文化が「“好き”を貫くロリータファッションの精神性と重なった」という小林さん。ベナンでは「自分の服作りにも夢中になった」と当時を振り返る。そして、この伝統的な服作り文化との出会いがJOCVとしての活動にも繋がっていく。

小林さんはコミュニティ開発として福祉センターに配属となり、女性や障がい者といった社会的弱者に対する啓発活動の企画を任されていた。ある時、馴染みの仕立て屋から紐やボタンを譲ってもらい、障がい者の自立支援のためのクラフト制作に取り入れることになったのだ。

日本にいた時から簡単な服作りや裁縫が好きだった小林さんだが、材料も何もない状態から素材を見つけ出し、アクセサリーの製作を指導するのは初めてだったという。それでも、みんなで教え合いながら少しずつ上達し、最終的には都市部の雑貨店で販売できるまでに仕上がった。小林さんはこうした過程を「いろんなことが繋がっていった」と語る。

活動の楽しさと自身の成長を実感できたJOCV活動だったが、帰国直前に

小林さんの支えとなっていた福祉センターの所長が急逝してしまう出来事があった。「40～50歳代って亡くなるにはまだ若いと思うのですが、現地では決して早すぎる年齢ではないんです」心から尊敬していた所長が亡くなったことは、小林さんにとって大きな悲しみをもたらした。同時に、医療が充実していないアフリカの現状を再認識するきっかけともなったのだ。

情熱と努力、 その先へ

寂しさが癒えぬまま帰国した小林さんだったが、「アフリカの布を使って原宿ファッションを世界に発信したい」と進むべき道に迷いはなかった。洋裁スクールの門を叩き、働きながら三年ほど通って本格的ドレス作りの技術を習得。こうしてブランド『Melanger Etranger』は誕生した。

「とにかくやるしかなかった」小林さんは、無我夢中で物事を進めていく姿勢こそJOCV経験で培われたものだと言います。さらに、JOCV時代に築いた人と人

小林 結花さん プロフィール

埼玉県出身。幼い頃から裁縫に興味を持ち、学生の頃からロリータファッションに憧れを抱くようになった。社会人になってからはお気に入りの服に身を包み、ファッションの聖地である原宿に通う日々を送っていた。JOCVで派遣されたベナンでアフリカ布と出会い、ロリータファッションとの融合を提案。帰国後、本格的に服作りの勉強に励み、自身のブランドの立ち上げに至る。

との繋がりは現在の活動の大きな支えとなり、その縁はカンボジアでのワークショップ開催など新たな可能性を生み出している。

現在、売り上げの一部をUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)に寄付し、少しずつではあるが、かねてから関心のある難民問題に貢献したいという目標にも近づいているという小林さん。「ブランドの成長と社会貢献をどうすれば同時に達成できるか」ロリータファッションとベナンを愛する心を原動力に、小林さんのさらなる挑戦は続いている。

小林さんへの エール!

JICA 地球ひろば地球案内人/
カバディ日本代表強化指定選手/
東洋大学非常勤講師

黒柳 優里さん



好きを貫く、「アフリカロリータ」の第一人者!

小林さんとは同じ派遣国のJOCV同期です。奇抜なアイデアや思い切った判断力、賛同してくれる仲間が多いのが彼女の大きな魅力です。自分の「好き」に妥協しない、一貫した姿勢がそうさせるのだと感じています。彼女の行動でアフリカの文化に興味関心を持つ人が増えたらなんて素敵だろう!と大きな期待を寄せています。